

- ・[ 共通事項 ] を基にした授業づくりの工夫
- ・思考した過程を可視化する工夫

## 音楽科学習指導案

日時 平成 25 年 6 月 7 日 ( 金 )  
学級 3 年 4 組 ( 男子 18 名・女子 16 名 計 34 名 )  
場所 第 1 音楽室 ( 1 年校舎 4 階 )  
授業者 教諭 寺地郁美

### 1 題材 旋律の動きを理解して表現を工夫しよう

教材 「夏の日の贈りもの」 高木 あきこ 作詞 加賀 清孝 作曲

### 2 題材について

#### ( 1 ) 題材設定の理由

中学生は、様々なメディアを通して多様な音楽に親しんでいる。その中でも歌謡曲に対する興味・関心が高く、自宅でミュージックプレイヤーやダウンロードによって鑑賞したりカラオケで歌ったりする機会が多いなど、歌に親しんでいる生徒も多い。本校 3 年生は、音楽の授業をはじめ、音楽コンクールや文化祭等で合唱活動を経験するが、合唱はリズムや音程を合わせることができたら「仕上がった」と感じているところが見られ、楽曲について深く考えたり、歌詞の意味や、歌詞に込められたメッセージを伝えるように歌ったりするなど、試行錯誤を繰り返し練り上げていくことの楽しさを味わうまでに至らないことが多い。

本教材「夏の日の贈りもの」は、本校音楽コンクール 3 年生の課題曲である。高木あきこ作詞、加賀清孝作曲、変口長調、4 分の 4 拍子、混声二部合唱の曲であり、歌詞には、現代社会に生きる生徒たちが、自然とのかかわりの中で安らぎが感じられるような詩情が込められている。また、混声二部合唱であることから、声部の重なり方を理解するのに適しており、パートのバランスや歌い方の工夫をすることができる。本教材は 2・3 年上の教科書に載っているもので、旋律のまとまりや声部の重なり、フレーズにふさわしい強弱の変化など、これまで学習したことも生かしながらさらに表現の工夫と技能を高めさせたい。

音楽は、音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱など）や構造（音楽を形づくっている要素そのものや要素同士のかかわり方及び音楽全体がどのように成り立っているかなど）と曲想（その音楽固有の表情、雰囲気、気分や味わいなど）が互いにかかわり合って成立している。音楽を形づくっている諸要素が音楽の構造や曲想と深く関わっていることに気付かせることが重要であり、生徒はそのことによって、楽曲の内容をより深くイメージすることができ、表現を工夫していくことができると考える。つまり、音楽を形づくっている諸要素を理解し、それらと音楽の構造や曲想とのかかわりを感じ取る能力を育てることが、表現を工夫するための技能を高めしていくといえる。そこで、音楽を形づくっている諸要素を理解し、それらと旋律線とのかかわりを感じ取らせながら楽曲にあった表現の工夫を考えていく活動を通して、歌唱（合唱）表現の楽しさを味わわせることをね

らいとし本題材を設定した。

(2) 生徒の実態(アンケート対象: 3年4組 男子16名 女子15名 計31名 回答)

今回の学習に取り組むにあたって、事前調査を実施した。

1. 歌唱活動は楽しいですか。

とても楽しい(3人) 楽しい(19人) どちらでもない(9人) 楽しくない(0人)

2. [1]で答えた理由

「とても楽しい」「楽しい」と答えた人

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| ・みんなで合唱したり練習したりすることが楽しい | ・音の重なりが好き  |
| ・一人では歌えないけどみんなとなら歌える    | ・歌を歌うことが好き |
| ・音を取ることは難しいけど、楽しい       |            |

「どちらでもない」「楽しくない」と答えた人

- |                |                 |             |
|----------------|-----------------|-------------|
| ・歌うことがあまり好きでない | ・学校の歌はあまり好きではない | ・好きではない     |
| ・歌うことに興味がない    | ・下手だから          | ・好きでも嫌いでもない |

3. 歌唱活動で、表現の工夫をするとき特に気を付けること(楽譜から読み取ること)は何ですか。

- |     |         |         |        |     |
|-----|---------|---------|--------|-----|
| ・速さ | ・楽譜上の記号 | ・ブレスの仕方 | ・声の明るさ | ・強弱 |
|-----|---------|---------|--------|-----|

4. これまでの歌唱活動で、どのような表現の工夫の仕方を学びましたか。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| ・歌詞の流れで速さを変化させる     | ・旋律を支えるような副旋律を歌う   |
| ・盛り上がりを考えて最初の強さを決める | ・明るい調子になるときは少しだけ速く |
| ・ことばの頭はしっかり発音する     |                    |

アンケートの結果から、本学級では、歌うこと(歌唱活動)は「とても楽しい」あるいは「楽しい」と答えた生徒は全体の約70%を占めている。その理由として、「みんなで合唱したり練習したりすることが楽しい」「一人では歌えないけどみんなとなら歌える」「歌を歌うことが好き」など、歌唱活動において、これまで楽しいと感じた経験をした生徒が多い学級であることがわかる。これまでの歌唱活動でどのような表現の工夫の仕方を学びましたかの問いに対しては、「歌詞の流れで速さを変化させる」「旋律を支えるような副旋律を歌う」「盛り上がりを考えて最初の強さを決める」など、楽譜から読み取れる諸記号を意識して表現を工夫したり、歌詞の内容や言葉のまとまりなどを表現に生かしたりしてきたことがうかがえる。以上のことから、混声二部合唱の本教材を通して、歌唱活動の基礎やこれまで学習してきたことを振り返りながら、楽曲の構成や特徴をどのように表現をすればよいか、互いに感じたことを話し合いながら意欲的に取り組ませ、一人一人の生徒が表現の技能を高められるように指導をしていきたい。

### 3 題材の目標

- (1) 旋律線と強弱との関係について興味・関心をもち、それを生かした歌詞の表現に主体的に取り組むことができる。
- (2) 旋律線のもつ特徴を感じ取り、それらを強弱と関わらせながら、どのように表現するかについて思いや意図をもつことができる
- (3) 強弱の変化を用いながら表現するための基礎的な技能を身に付けて歌うことができる。

### 4 題材の指導計画(全3時間)・[単位時間における評価規準]

時	主な学習活動	単位時間における評価規準
---	--------	--------------

		ア 音楽への関心 ・意欲・態度	イ 音楽表現の 創意工夫	ウ 音楽表現の技能
1	1 楽曲について理解する。  2 歌詞の内容と音取り（パート）をする。  3 A部分の旋律線の動きを確認しながら歌う。	・ 旋律線と強弱との関係について興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。		
2 (本時)	1 前時までの学習を確認しながら歌う。  2 曲の構成を確認しながら表現の工夫をする。		・ どのような表現の工夫ができるかについて思いをもっている。	・ 旋律の特徴を生かして、強弱の変化を用いながら表現している。
3	1 前時の学習を生かし、全体の練り上げ、表現の工夫をする。  2 まとめの合唱をする。	・ 学習内容を生かして歌おうとしている。		・ 思いや意図をもって表現する技能を身に付けようとしている。

## 5 題材における評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとの関わりなどに関心をもち，それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら歌詞の内容や曲想を味わう，声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。

## 6 本時の実際（2 / 3）

- (1) 目標 旋律線を生かした表現の工夫をすることができる。
- (2) 授業づくりの視点

[ 共通事項 ] を基にした授業づくりの工夫

楽譜から読み取れる諸記号や歌詞の内容から，表現しようとするイメージや思いを，具体的な技能に結びつけられるようにさせる。

思考した過程を可視化する工夫

楽譜への書き込みやステップシートにより、思いや意図をもった表現の工夫をさせる。

(3) 展 開

過程	時間 形態	主 な 学 習 活 動	・ 指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価 授業のポイントの工夫
導 入	8分 一斉  2分 一斉	1 前時の学習内容を振り返り、「夏の日の贈りもの」を歌う。  2 本時の目標を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             旋律線を生かした表現をするためには、どのような工夫ができるだろうか。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習内容を確認する。 前時の学習を振り返り、Aの部分で学習した表現の工夫を生かして歌うことができる。</li> <li>・ 本時の目標と学習の流れについて提示し、旋律線を生かした表現に取り組む意欲を高めさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短いフレーズが少しずつ長くなる</li> <li>・ 音が上がって行く 自然なクレシェンド</li> <li>・ 音が下降してして行く 落ち着きを感じさせる</li> <li>・ パートの旋律線が揃う部分</li> <li>・ 続く感じと終わる感じ</li> </ul> </div>
展 開	7分  1 5分  1 5分	3 旋律線の動きと強弱との関係を確認する。  4 パートで旋律線をどのように表現の工夫をするか表現したい思いや意図をもって練習する。  5 パートで工夫した表現を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時に学習したA・Bの部分参考に、C部分の旋律と強弱との関係を捉えさせる。  <b>[ 共通事項 ] を基にした授業づくりの工夫</b>            旋律のもつ特徴を感じ取っている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旋律の中心となっている音が上がっていく所と下がっていくところ</li> <li>・ 短いフレーズが少しずつ長くなる</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「覚え」を出し合いながら、具体的な表現につながるようにさせる。  <b>思考した過程を可視化する工夫</b>            思いや意図をもって表現する技能を身に付けようとしている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容からイメージを具体化する</li> <li>・ 自分のパートの役割（主旋律か副旋律か）を理解して歌う</li> <li>・ 自分で強弱の変化をつける</li> </ul> </div>

	一斉	6 各パートの旋律線を生かした表現の工夫をしながら全員で歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組んだことを生かして歌うように意識させる。</li> <li>・ 各パートが工夫したことを意識して歌わせる。旋律の特徴を生かして、強弱の変化を用いながら表現している。</li> </ul>
終	2分 一斉 個人	7 本時の振り返りと次時の目標を設定する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>旋律線を生かした表現をするためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短いフレーズが少しずつ長くなる</li> <li>・ 音が上がって行く</li> <li>・ 音が下降してして行く</li> <li>・ パートの旋律線が揃う部分</li> <li>・ 続く感じと終わる感じ</li> </ul> <p>にあわせて強弱をつけたりパートの音量バランスをつけたりする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のまとめと次時の目標をステップシートに記入させる。</li> </ul>
末	1分 一斉	8 次時の予告を聞く。	生徒の活動や変容を認め、次時の学習につなげる。